

神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062
メール: nenkinkanagawa@nifty.com

6月7日現勢 組合員 10,400人
機関紙 6,858部
新年金署名 7,622筆



神奈川県版 第286号 2012年6月15日

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
TEL: 03 (5978) 2751 FAX: 03 (5978) 2777
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

高齢者の生活を脅かすな! 一雨の中の国会行動



年金切下げ、消費税増税法案が、特別委、厚労委で一括審議が決まった5月25日、国会と同じく、ぐずつてははっきりしない空模様の中、厚労省抗議、日比谷野音集会、国会デモ行進、特別委、厚労委員要請が行われました。
神奈川の精鋭揃いとはいえ、泥に隠れたどじょうを国民監視の下に引き出すには……。やっぱり「数は力」!

やりました10400人! 県目標を超過して達成!!

2012年春の組合員を増やす運動は大きな成果をあげました。
09年くらい神奈川県が独自に目標にしてきた99年度高齢者の組織率1%、1万4000人が達成できたことです。
高齢者100万人を超える東京、大阪もまだできない大きな事業を神奈川県が全国に先駆けて成功しました。
これを保障したのが、43全支部が20年の結成いらい初めて自主目標を

持ち、その合計が1万649人という積極的な数値となったことです。
その結果、6月5日時点で11の支部が目標を達成、あと2、3人で目標に達するという支部が数支部あり、県目標を大きく超える勢いです。
神奈川県本部は、この春の運動の重点を、楽しいサークル、行事を広げる、「年金引き下げ」の怒りを年金者組合に結集する方針を掲げて運動しました。

旭支 楽しいサークル活動にはルールが必要!

旭支 1年以内に発足した「書道」や「健康麻雀」をはじめ、10年以上続いている「童謡」、「歩く会」など20のサークルがありますが、昨年辺りから、「嫌な思いをしたので参加したくない」という声を耳にするようになりました。人間関係もあれば、

旭支 要求に合わないなど不満の中身はそれぞれに違いますが、楽しいはずのサークルが面白くないと言うのは深刻な問題として受け止めてはなりません。
そこで、サークル担当者会議を開いて、会の責任者を複数化し、情報を素早くキャッチしてすぐ

旭支 改善できるようにすること、会のルールを決めること、2つ以上のサークルに参加を、など確認しました。
退会者を減らし、「参加して良かった」と思えるようなサークル活動が新しい会員を増やすことに繋がります。運営には地道な努力が必要!

旭支 月間半ばでの目標突破がどうしてできたのか? 「仲間増やし月間」に限らず月目標を決め、12月3月にコツコツ増やしてきた。○有能な執行委員が3人増員となり、新書記長選出で執行体制が強化された。○自前の広い事務所の有効活用が一層すすみ、支部行事、サークル活動が活発化した。○確定申告相談会、駅頭宣伝、「地域健康まつり」での年金相談、共同墓所勧誘などの多彩な活動のなかで新会員が増えている。○月間の中で地域麻雀サークルの事務所利用で5人増え、ここからカラオケサークルに

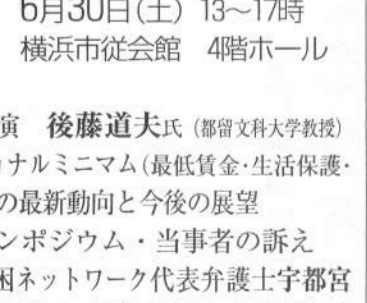
戸塚支 自前の事務所が大活躍!



明るい会場でヨガを楽しむ

戸塚支 参加してくれる方が組合に加入を予定されている。○支部長が仲間増やしの先頭を切っているほか、組合員が麻雀や映画その他のサークルに友人を誘って7人が加入。
このように支部全体の総合力のあらわれが成果に結びついていると思えます。(戸塚支部 大塚頼雄)

三浦支 三浦の町で市民権を



会場ぎっしりの麻雀サークル

三浦支 三浦半島の先端の街では人口の減少と同時に、高齢化が勢いよく進んでいます。町の繁華街であった通りはシャッターの閉まったままのお店が続

き、人の通りも少なく、しだいにゴーストタウン化しつつあります。
年寄りにはたくさんいるが、年金者組合三浦支部のネームバリューは小さく「そ

座間支 みんなの協力で嬉しい成果

座間支 今まで支部の「仲間ふやし」は、役員だけが頑張って動くという感じでしたが、今回の「春の仲間ふやし」では、役員以外の組合員が1人、2人と知人を誘ってくれ、目標の人数に達する事ができました。仲間の皆が協力してくれた結果の嬉しい成果でした。今度、新しく入った親戚宅で「囲碁」のサークルが出来、又「歌う会」のサークルでは「輝け女性の集い」に向けて、メンバーを増やそうと知人を誘い2人も増やすなど、新会員を迎えて支部の中に活気がでてきました。「誕生会」等の行事、サークルに参加する事で仲間との繋がりが強くなる。そんな組合の良さを話してもらった事が「仲間ふやし」に繋がったと思います。老後を楽しく生き生きと過ごすためにも、会員を増やしたり行政に働きかけていきたいと思えます。(座間支部 田中文子)

んなの知らない」という。貧しく、つましく、美しく、かは知らないが自動販売機のおつり口に手をつたみながら散歩をしている年寄りを多く見かけます。
三浦支部ではまだまだ全体での仲間ふやし活動にはなっていないが、やっとならぬ85人になりました。早い時期に1000人を超し市民権のある組織にしたいと考えています。
三浦の町に年金者組合ここにありとなるように。(三浦支部 村本悦蔵)

ナショナルミニマムを考える集い

年金者組合は最低保障年金制度の確立をめざしています。今後の運動と取組の連携・共同を強めるために集いに参加しましょう。
日時 6月30日(土) 13~17時
会場 横浜市従会館 4階ホール
内容
●講演 後藤道夫氏(都留文科大学教授) ナショナルミニマム(最低賃金・生活保護・年金)の最新動向と今後の展望
●シンポジウム・当事者の訴え 反貧困ネットワーク代表弁護士宇都宮健児氏がシンポジストとして参加決定



「日帰り旅行」で川越へ

